

聖書朝礼ノートより

6/22の聖書朝礼の話し手は校長先生でした。あいだみつを氏の作品はたくさんあります。本日紹介されたものはその一つです。他の作品も見てください。今後の人生の指針となるものに出会えるかもしれません。



今年度の目標である"雑草のような力強さ"は私に欠けているものの一つだと感じます。私は辛いことや苦しいことがあるとすぐに諦めがちです。勉強においても、部活においても目標をやり遂げるまで努力を続けたことは人生の中でないかもしれません。だから今年は計画性を大事にし、この一年頑張ったと言い切りたいです。

私はこの話を聞いて、なんて素敵なんだろうと思いました。上手に書こうという気持ちをなくすまで書き続けたみつをさんや、苦しい状況でも明るく彼を支え続けたちえさんのような力強さを私ももちたいです。つらい時、周りが見えなくなったり、文句を言うところどころが私の直さなくてはいけないところだと思います。好きなこと、苦手なことものをばしていくため「継続」を大切にしていきます

私は普段詩を読むことはほとんどないけど、今日聞いた詩はすごく思いが伝わっていいなと思いました。同じことをひたすら続けることは大変だし、集中力ややり切るという気持ちがないとできません。目標をたてたらそれに向かって本気で取り組んで、少しずつ壁を乗り越えていけるよう

に"雑草のような力強さ"を忘れずにがんばりたいです。

その人がいるだけで救われて、心が楽になって、そんな夫婦はすてきななあと思いました。長く過ごしていくうちに相手の良い面も悪い面もたくさん知ってしまうのに、来世も結婚したいと思える相手に出会いたいし、そう思ってもらえる人になりたいです。上手に書きたい、という気持ちがなくなるまで書き続けるのは斬新でおもしろいなあと思いました。

私の家にあいだみつをさんの詩集があって、たまに見たりしていたのですが、言葉の意味だけでなく時の形にまで意味が込められていたなんてはじめて知りびっくりしました。特徴的な字だなあと思っていたけれど、まさかわざと"上手にかく事を捨てる"という思いを持って書いていたと考えると、なんてすごい人なんだと思いました。心に残る詩は言葉の意味だけじゃないんだな。

あいだみつをさんが何度も何度も自分の作品を納得するまで書き続けたということを知り、何度も何度も踏まれても起きあがる雑草のような力強さを持っている人に私もなりたいと思いました。また、妻であるちえさんのように周囲を明るくし、逆境の中でも強く生きていける人になりたいと思いました。

「もちろん、生まれつきの能力の問題もまったく無視はできない。それでもやはり、これはおまけみたいなものだ。絶え間なく、粘り強く努力する。これこそ何よりも重要な資質であり、成功の要といえる」